



おひざのうえで

(副園長の子育ておうえん通信) (2020年4月)



せんりひじり幼稚園
副園長 安達かえで

「こんなことを悩んでいます」シリーズ④



「一日の終わりに・・・」

家族みんなでのんびり過ごすことで、いいこともたくさんあるというご意見もいただきました。普段お父さんが働いている姿を見たことがなく、いつも時間に追われて疲れて帰ってくるけれども、「家でテレワークをしている姿を見ると、ちゃんと仕事しているんだなあ」と見直しました。」というお話を聞きました。園の職員もWEB会議をしますが、画面の向こうにご家族やお子さんの姿を見ると、きっとパパやママのいつもと違う姿を嬉しく見てくれているだろうなと感じます。

また、ニューヨーク在住の卒園生のご家族からは、「完全な外出禁止が2か月続く中で、家族そろって今までになくリラックスして過ごし、家族間の新たなつながりを発見でき、失うものもあれば、得られるものもあると感じています。」とのこと。

人間はなんてしなやかで、適応能力のある生き物なのだろうと感心します。

かといって、長期になってくると、限界だという人もいます。遊びのネタも尽き、疲れてきたという方もいるかと思います。特に一日の終わりは、心も体も疲れ、余裕がなくなってくるものです。叱ってそのまま寝てしまった子どもの寝顔を見て、お互い嫌な気持ちで一日が終わったことに後悔したりすることもあります。

私も、一日の終わりに、イライラして気持ちの收拾がつかなかったり、もう子どもと向き合いたくないと思うほどくたくたに疲れていることもありました。そんな時は、絵本に助けてもらいました。寝る前は必ず、布団の中で顔を引っ付けながら、絵本を読んで一日を終えるということを決めていました。絵本を読んでいるうちに、とんがった気持ちがふわっとほぐれていきます。子どもが1冊選びます。私も1冊選びます。子どもに選ばせてあげることも大切ですが、手に取ってほしい絵本や今日はこの絵本を聞かせたいなと思った本を1冊、親も選びます。そして、まずはどっちの選んだ絵本から読むかジャンケンして・・・。

私の好きな絵本は「ちいさなおうち」バージニア・リー・バートン作のレトロな傑作絵本です。これを読んで育った保護者の方も多
いのでは？ 娘や息子に何度となく読むことができました。季節が移りゆ



く描写が細やかで、丁寧で、美しく、ページをめくるたびに、その細部に見とれるほどです。変わりゆくものと変わらないでいてくれるものを優しく温かく描いています。この絵本は、幼稚園でみんなで読むには向いていません。その子のペースでゆっくりページをめくって読む絵本ですから親子で読むのに向いています。お布団の中で親子でお顔をひっつけながらゆっくり読んでもらう絵本は、その絵本のストーリーと共におうちの人の愛情も子どもの心の中に沁み込んで、忘れられない宝物になるでしょう。

.....
子育てに関するお悩みやご意見がありましたら、下記アドレスまでどうぞ。
(必ずクラスとお名前を書いてくださいね。)

kaede@hijiri.ed.jp

